

見積内訳書

[illegible]

見積内訳書

No	品名	数量	単価	金額	摘要
	付属品				
1	吸管（軽量）	2			75mm×10m LF-RS
2	吸水ストレーナー	1		標準艀装費含	75mm用ポリプロピレン製
3	吸管ストレーナー	2		標準艀装費含	75mmポリプロピレン
4	吸管ちりよけ籠	2		標準艀装費含	75mm用ポリプロピレン製
5	吸管まくら木	2		標準艀装費含	ゴム製バンド付
6	吸管ひかえ綱	2		標準艀装費含	クレモナ 10mm×15m
7	中継媒介金具	2		標準艀装費含	65mmネジメス×65mm差込メス
8	消火栓金具	1		標準艀装費含	
9	消火栓開閉金具	1			
10	吸管スパナ	2		標準艀装費含	
11	管鎗	2		標準艀装費含	
12	可変噴霧ノズル	2			NV-65BX
13	放口媒介金具	4			
14	双口接手	1			65mm×65・50mm×65・50mm
15	消火栓スタンドパイプ	1			単口引き上げ式 715mm
16	とび口	2			グラスファイバー製 1.8m
17	剣先スコップ	1		標準艀装費含	
18	大ハンマー	1			グラスファイバー製
19	ホースブリッジ	1			CB450
20	伸縮コーン	2			
21	梯子	1			K-1(関東梯子)鋼管製2つ折り3.6m赤塗り
22	アルミ縞板ボックス	1			
23	車輪止	2		標準艀装費含	
24	消化器20型	1		標準艀装費含	
25	クリッパー	1			BC600-FN 絶縁型
26	ポンプ工具	1		標準艀装費含	冷却水キャップ
27	ホースカー可納式	1			
28	オイルパンヒーター	1		シャシ含	コード10m付
29	予備タイヤ	1			スタッドレスタイヤ ホイール付
30	訓練旗	2			マグネットタイプ
31	牽引ワイヤー	2			シャックル2個付
32	消防用ホース	10			Dライトスター 65mm×20m 1.3MPa
33	ディスクトレーナー	1			
34	投光器	1			マキタ ML008G×1 ML008G用三脚×1 バッテリー BL4040×2 バッテリー充電器 DC40RB
	小計				

消防ポンプ自動車（車両総重量 3.5 t 車）

仕様書

令和 7 年度

東彼杵町

総則

- (1) この仕様書は、東彼杵町（以下「本町」という。）が購入する消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作に関する一切に適用する。
- (2) 車両の製作は、この仕様書および製作承認図等（契約後受注者にて製作すること。）に従うこと。
- (3) 車両は、道路運送車両法および道路運送車両法の保安基準に適合し、緊急自動車としての承認が得られること。
- (4) 受注者は品質確保、環境対策の配慮から ISO9001、ISO14001 認証取得による品質環境管理システムによって製造が行われていること。
- (5) 入札に参加しようとする者は、製造工場に関する証明を入札前に提出し承認を得ること。
- (6) 環境負荷の低減に努めるため、解体・リサイクルにおける取組として、一般社団法人日本自動車車体工業会が定める新環境基準適合ラベルを取得すること。
- (7) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点については、本町担当員に質問し十分に熟知した上で契約すること。
- (8) 受注者は、契約後仕様書詳細について本町担当員と打合せを行い、製作承認図等を本町に提出し、承認を得て製作に着手すること。
- (9) 受注者は、契約後製作にあたりこの仕様書に疑問が生じた場合は、本町担当員に連絡の上承認または指示を受けること。
- (10) 受注者は、製作にあたりこの仕様書を変更する必要がある場合には、本町担当員と打合せの上、変更承認図を提出し、承認を得ること。
- (11) 受注者は、製作全般にわたり厳重な検査を実施すること。
- (12) 受注者は、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合には、その責任を負うこと。
- (13) 受注者は、製作工程表に基づき、次の検査を受けること。
 - ① 艤装中間検査（本町が適当と判断する時期に受注者製作工場にて実施。
完成検査にて中間検査を兼ねる場合もある。）
 - ② 完成検査（本町が適当と判断する時期に受注者製作工場にて実施。また、以下の検査をその際併せて行うこととし、車両の安全を確保(合格)できた場合にのみ受注者製造工場より出荷の手配を行えるものとする。）
 - (ア) 完成車重量測定検査
 - (イ) 完成車転覆角度検査
 - (ウ) 完成車悪路走行検査
 - (エ) 完成車登坂走行検査
- (14) 納期は、次の通りとする。
 - ① 納 期 ：令和 8 年 3 月 2 5 日（水）
 - ② 納入場所 ：新規検査および新規登録を受け、本町に納入すること。
- (15) 補足
 - ① 保 証 ：保証期間は納入後 1 年間とする。
ただし、納入後 3 年間は製造メーカーによる無償点検を行うこと。
 - ② 登録諸費用 ：登録に関する一切の経費については受注者が負担する。但し自動車登録手数料、自動車重量税および自動車損害賠償責任保険料、リサイクル料金は、本町が負担する。

1. 提出書類

- (1) 受注者は、契約後次の書類を 2 部提出すること

- ① 製作工程表
 - ② 製作承認図（外観 5 面図、ボックス内配置図）
 - ③ 電気配線図
- (2) 受注者は、納入時に次の書類を 2 部提出すること。
- ① ポンプ取扱説明書
 - ② ポンプサービスマニュアル
 - ③ パーツリスト
 - ④ 車両取扱説明書（1 部）
 - ⑤ ポンプ性能試験成績表
 - ⑥ 受託試験合格及び安全基準適合プレート写し
 - ⑦ 工程写真
 - (ア) 製作中各工程（シャシ、組立中、塗装後）
 - (イ) 試験実施工程（転覆角度試験、重量実測試験、悪路走行試験、登坂試験、放水試験）
 - ⑧ 車両安定傾斜角度測定表
 - ⑨ 計量証明書

2. 概要

本車両は下記のシャシに 1 段ポリユートポンプを装備し、河川、消火栓等の水利より強力な放水をなし、一般火災に対し速やかに活動出来るものとする。また、普通免許で運転できるよう車両総重量は 3.5 t 未満とする。

3. 仕様シャシ

- | | |
|----------------|--|
| (1) 型式 | : トヨタ ダイナ 3BF-TRY230-PGTCK
1.0t 級 ダブルキャブオーバー型 |
| (2) 駆動方式 | : 2WD |
| (3) トランスミッション | : オートマチックトランスミッション |
| (4) ホイルベース | : 2,545mm |
| (5) 乗車人員 | : 6 名（前部 3 名、後部 3 名） |
| (6) 最高出力 | : 97kW 以上 |
| (7) PTO | : 水ポンプ用 PTO |
| (8) エアバッグ | : 運転席のみ |
| (9) バッテリー | : 80D26L |
| (10) オルタネーター | : 12V-80A 以上 |
| (11) ヘッドランプ | : LED |
| (12) フォグランプ | : LED |
| (13) エアコン | : 純正品 |
| (14) カーナビ | : 純正品 2 スピーカー（AUX 端子付） |
| (15) ドライブレコーダー | : SD カード式（SD カード含） |
| (16) オーディオ | : AM/FM ラジオ（カーナビ内蔵可） |
| (17) タイヤ | : スタッドレスタイヤ 前 175/75R15 後 145/80R13 |
| (18) ドアロック | : 手動開閉式 |
| (19) キャブ内シート | : 全席ビニールシート張り |
| (20) サンバイザー | : 運転席 |
| (21) ドアミラー | : 手動式 2 面鏡ミラー（運転席側）、 |

電動格納式 2 面鏡ミラー（助手席側）

- (22) バックモニター : バックカメラ付き
- (23) サイドバイザー : ドア上部
- (24) 泥除けゴム : 全輪
- (25) スペアタイヤ : スタッドレスタイヤ ホイール付き（前後各 1 本）
- (26) フロントグリル : 純正標準品（樹脂製）
- (27) フロアマット : 前後席 1 式
- (28) 標準工具 : ジャッキ、タイヤレンチ
- (29) 非常信号灯 : 1 式
- (30) 三角表示板 : 1 式
- (31) タイヤチェーン : 1 式

4. 水ポンプ装置

- (1) 水ポンプ インデューサー付 1 段ボリュートポンプ
（日本消防検定協会による受託評価の品質評価合格品）
ポンプ性能 A-2 級
放水静圧力 0.85MPa において放水量 2,000L/min 以上
放水静圧力 1.40MPa において放水量 1,400L/min 以上
- (2) 水ポンプは、シャシエンジンの P.T.O（パワーテイクオフ）により駆動され、P.T.O の操作は運転席に設けられたスイッチにより行うものとする。
- (3) ポンプ材質は車両全体の軽量化を考慮し、アルミ製とすること。但し、砂利等の混入に対応できるよう強度、耐腐食性も考慮し、インペラは青銅鋳物製（CAC 製）とすること。
- (4) スペースを有効利用する為、ポンプはギアにより増速を可能とした 1 段ボリュートポンプを使用し、小型化すること。
- (5) キャビテーションを抑制する為、吸入口にインデューサを設けること。
- (6) グランド部はグリスレスのメカニカルシールとし、不凍液や作動油、グレーシングオイル等の使用及び継ぎ足しも必要ない構造とする。尚、軸先端部もグリスレスのこと。
- (7) ギアケースに給油する必要がある場合は、ボディ側板に給油口を設けること。

5. 真空ポンプ（MPDV-90 型）

- (1) 真空ポンプはピストンを左右に動かし吸排気バルブにより空気を排出するピストン式真空ポンプとすること。
- (2) 真空ポンプ本体は注油装置を必要としない完全オイルレス構造とする。
- (3) 動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし、動力伝達については歯付ベルトによりスムーズな伝達が行えること。
- (4) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、揚水完了後は自動的に停止すること。尚、非常用の別系統スイッチを右側に設けるものとする。
- (5) 真空性能吸管外端閉塞にて 30 秒以内に大気圧の 84% とする。
- (6) 気水分離機を必要としない構造とし、吸水配管内の空気を効果的に排出するため、エアチャンバ方式とする。操作は押ボタン式スイッチとする。
- (7) 真空ポンプの作動は破損防止の為、自動揚水時エンジン回転が一定回転以上では作動しない構造とし、回転が高い場合には自動的にエンジン回転を低下させた後、適正回転まで上昇する構造とする。

6. 冷却水装置

- (1) 補助クーラー等への配管は通常回路のほかに予備回路を設け、車体側面にあるコックで切り替えで
きる。通常回路のストレーナーが詰まった際には、予備回路に切り替えて放水を一旦停止する
ことなく連続放水が可能なこと。
- (2) 通常、予備共にストレーナーを備え、ストレーナーはガラスボールにより詰まりが無いか容易に状
態確認でき、取外し掃除できること。

7. 吸水口

- (1) 吸水口は、消防呼称 75mm ボールコック（ストレーナ付）とし、車両両側に各 1 個設け、75×10
mの吸管を常時接続する構造とする。
- (2) 左右ポンプ室側板に、通水確認窓（透明プラスチック製）付きのバイパス装置を設置すること。

8. 放水口

放水口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 2 個設ける。

9. 中継口

中継口は、消防呼称 65mm ボールコックとし、車両両側に各 1 個設ける。

10. 不凍液装置

水ポンプ及び止水弁の凍結を防止する為、不凍液を注入できること。装置は外部吸液式とし、注
入口はカプラ式とし、真空ポンプを作動させ不凍液を付属のホースにて吸入できること。

11. 安全機能装置付ポンプ操作装置（e-モニタ）

ポンプ操作装置は自動調光機能付多目的液晶ディスプレイと液晶ディスプレイ両側面に一体とな
ったパネルスイッチを設け、操作員が容易に且つ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有する
ものとし、一つの操作盤で全てが行なえるものとする。

- (1) 圧力計・連成計（リタード式）は直径 100mm としステッピングモータを用いた電子式（透過
光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）とし、振動等でも針振れがない構造とする。（ブルド
ン管式は不可）
- (2) ポンプスロットルは電子（エンコーダ）式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転するこ
とによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。なお、表示は PTO を入れた時の
み反応すること。
- (3) 液晶ディスプレイは点検の為、起動用スイッチを個別に設け、PTO が非作動時でも表示できる
こと。
- (4) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (5) 操作盤上に真空作動、停止（緊急減圧機能兼用）ボタンを設け、操作性を考慮し、φ20 以上の
照光スイッチを使用すること。
- (6) 多目的表示液晶ディスプレイの詳細は以下の通りとする。
 - ① 液晶画面は 7.0 インチ TFT カラー液晶とし、昼夜に関わらず認識し易いよう自動調光機能
を装備し、映り込み抑制樹脂封入式の高コントラスト比の低反射型硬質パネルとする。寒
冷地での使用も鑑み、液晶ディスプレイの使用温度範囲は、-30℃~60℃とする。また、
液晶画面には結露防止対策を施すこと。
 - ② 取扱表示（操作盤及び非常用操作盤の操作方法、使用油脂一覧、不具合時の対応フローチ
ャート等）を PDF 表示が出来ること（拡大・縮小が可能なこと）。
 - ③ モニタ表示（警告モニタとして冷却水及び揚水装置作動タイムに対する警告表示ができ、

なおかつ警報が鳴るようにすることとし、各ボールコックおよびバイパスバルブの開閉状況、揚水・放水の状況確認ができ、回転計・圧力計・連成計・流量計、積算流量計、放水反動力計、電源電圧を各々デジタル数値により表示できるものとする。）

- ④ 流水表示（各ボールコックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。）
 - ⑤ ディスプレイ内の各表示切換は液晶パネル左右に設けられた一体式のパネルスイッチにより行えるものとする。
 - ⑥ 左右の放水口の放水流量をデジタル表示し流量範囲によって表示色が変化すること。流量範囲は、筒先を一人持ちで放水できる範囲は緑色の背景、二人持ちで放水できる範囲は赤色の背景、二人持ちでも放水ができない範囲は灰色の背景に分けるものし、絵柄等にて何名か分かる様にもすること。また、積算放水量もデジタル表示できること。
 - ⑦ 隊員の安全確保の為、左右放水口の放水時使用ノズルでの反動力をニュートン単位で表示できること。パネルスイッチにて流量表示と反動力表示が切り替えられること。
 - ⑧ ディスプレイ内の各種操作及び表示切替は、手袋装着時でも確実に操作が行えるようパネルスイッチとする。
 - ⑨ 運転条件の確認や安全機能作動時については液晶パネルに種類によって色を分けて表示を行うものとし、警報の内容の説明や対処法等も併せてテキスト表示されること。
 - ⑩ ポンプ増速機のオイル交換日を入力できるものとし、当該オイル交換の管理が可能なこと。また、オイルレベルの低下や交換時期にはその旨が表示されること。
- (7) 非常時における真空形成装置およびスロットル操作はポンプ室右側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。
- (8) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保する為、次の安全機能を設ける。
- ① スロットル固定機能
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。但し、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作出来るものとする。
 - ② ホース耐圧警報機能
放水配管の圧力がホースの耐圧を超えると警報音と共に液晶ディスプレイに警告を表示し、圧力がホース耐圧以下となるよう自動で回転を下げるものとする。制御の ON/OFF 及びホースの耐圧設定が行えること。
 - ③ 上限圧力設定機能
ポンプ上限圧力値を任意に設定し、設定圧以上にポンプ圧が上がらないためのポンプ圧上限設定機能を設ける。
 - ④ 低圧中継警報
中継水量が不足している時、警報音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅し、その説明と対処法が表示されること。（ON/OFF 機能付き）。
 - ⑤ スロットルインターロック
PTO がつながっていない場合は、全てのスロットルダイヤルを操作してもエンジン回転操作が出来ないスロットルインターロック機能を設け、スロットルの開度表示も PTO が入っている時のみ変化すること。
 - ⑥ 緊急減圧機能
左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドリングまたは安全な回転数まで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とする。なお、通常の放水終了時にも使用出来る様、減圧後はスロットル操作すればすぐにスロットルアップできる構造とすること。

- ⑦ ダイアグ機能
不具合が発生した場合に、原因の特定を容易にするため、ダイアグ機能を設け、エラー履歴を 10 件程度記録し、液晶ディスプレイ内で確認できること。
- ⑧ 真空テスト機能
点検を容易にする為、真空テスト機能を設け、エンジンを OFF にしなくても PTO の OFF のみで漏気チェックが可能なこと。
真空ポンプ駆動後、所定の真空度まで下がれば OK と表示し、30 秒経過後も規定値まで下がらなければ NG と表示すること。また、真空テスト完了後、30 秒間に規定値以上の漏れがなければ OK と表示し、漏れがあれば NG と表示すること。
- ⑨ 落水警報装置
揚水待機時の想定外の落水を防止するために、揚水完了後又はポンプ作動後、1 分程度落水状態が続くと警報を表示すること。
- ⑩ 強制真空作動機能
配管内の空気溜まりの排出が必要な場合、揚水状態でも真空作動ボタンを押している間だけ真空形成が可能なこと。

12. 完成車諸元

- (1) 全 長 : 5,450mm
- (2) 全 幅 : 1,850mm以下
- (3) 全 高 : 2,400mm程度
- (4) 車両総重量 : 3.5 t 未満（普通免許対応）

13. キャブ艙装

- (1) キャブは、シャシ固有の鋼板製ダブルキャブオーバー型とし、乗車定員は6名確保すること。
- (2) 乗降用の手摺をキャブの各扉両側面に設けること。
- (3) 乗車人員の走行時における安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けること。
- (4) 前席と後席の間に手摺を設け、物掛けフックを4個設けること。
- (5) 地図等を収納するボックス（A3サイズ『450×300×70または450×300×100』）をキャブ内中央手摺に1個設けること。
- (6) 消防団マークを車両前面中央に取り付けること。
- (7) キャブ左右下部の乗降ステップはアルミ縞板張り幅広ステップとし、端部折り曲げ加工を施し、左右キャブ下前輪後部とポンプ室前との分割式ステップとすること。

14. 車両艙装

- (1) 艙装は総合的な重量軽減、車両重量のバランスを考慮して製作すること。
- (2) 車両の重要な点検箇所および主要な部分の点検整備に関して、工具類を使用する為のスペースを確保すると共に、必要箇所には点検口または点検扉を設ける。
- (3) 車両側板端部は人が触れても危険のない構造とし、各ステップはアルミ縞板にて端部を折り曲げ加工した構造とする。また、車体天井はアルミ縞板張りとする。
- (4) ポンプ室側板は開放式とし、点検手入れが容易に行える構造とする。
- (5) ポンプ室上部左右は跳ね上げ式の扉付き収納室とし、間口には上下可動式 1 段手摺を設けホースなどを収納できる構造とする。
- (6) 車両後面にはMCD製アルミバーシャッター式の器具収納室を設け、内部は1段の可動式の棚で仕切る

こと。間口には落下防止用の可動式1段手摺を設ける。

- (7) 車体後面左側に展開式の昇降用モデムプルステップを設けること。
- (8) 車体天井部は前方及び左右に一段手摺（標準）を設けること。
- (9) 車体天井部には出動時に手荷物・資器材等を収納できるアルミ縞板BOX（350mm×350mm×1,200mm）を設けること。
また、BOX開閉扉は引き上げ式とし、開閉方向は車体外側とする。
- (10) リアフェンダーは丸型とし上部にアルミ小筋板を取付けること。
- (11) 燃料タンク60Lとし、シャシ固有の位置に設けること。
- (12) 牽引フックを車両前後に設けること。（扉無し）
- (13) 車体天井右側にはしご積載装置を設けること。
- (14) 車両後方左右側面に10m吸管を常時取り付けできること。
- (15) 管鎗は後部左側リアステップ上付近に取り付けること。
- (16) 鳶口は左側面吸管上部に2本上取り式にて取り付けれること。
- (17) 昇降用ステップ及び各積載品脱着時に塗装の剥がれる恐れのある箇所には保護用のアルミ板を取り付けること。
- (18) 別紙に掲げる資機材を取り付け、積載すること。詳細については別途打ち合わせを行うこと。
- (19) ポンプ室上部は跳ね上げ式ボックス内床面には、樹脂製スノコ板を敷くこと。
- (20) 各ボックス内は隙間より水が抜ける構造とすること。
- (21) 各操作部（ハンドル、レバー、スイッチ等）には、名称および操作方法等を明記すること。
- (22) ナンバープレートはボディ後面右上部に取り付けとすること。
- (23) 車両後部シャッターボックス内付近に、纏の取付器具を設けること。取付位置等は別途協議とすること。

15. 電装品

- (1) キャブ天井に赤色警光灯を取り付けること。
- (2) 標識灯は赤色警光灯に内蔵させ、作動方法はシャシスモールと連動すること。
- (3) 艀装用のメインスイッチを設け、作動方法はキーONとすること。
- (4) 電子サイレン用スピーカー及びモーターサイレンは赤色警光灯内蔵とすること。
また、電子サイレンは搭載メッセージを走行中に広報できるものとする。
（搭載メッセージは最大10種類までとし、メッセージ内容については受注後に別途打合せとする。）
- (5) 赤色点滅灯をフロントパネルに2個取り付けれること。スイッチは、赤色警光灯と連動すること。
- (6) 後面左右に赤色点滅灯を取り付けること。
- (7) キャビン内ダッシュパネルに大阪サイレン製10連スイッチボックス（S B W-D 1）を取付けること。
- (8) キャビン内照明灯はシャシ標準品とすること。
- (9) キャブ内助手席付近にマップランプを設けること。
- (10) 電子サイレンアンプをダッシュパネル内に取り付けること。
- (11) サーチライトは車体前方右側上部に取付けること。スイッチは本体付近に取付けること。
- (12) ポンプ室側面に作業灯を左右各1個取り付けれること。
- (13) シャッターボックス内、ポンプ室内、それぞれに室内灯（LED式）を取り付けること。
- (14) 路肩灯（LED式）を後輪前方左右に各1個設けること。スイッチはシャシスモールと連動すること。
- (15) 車幅灯（LED式黄色）を車両後端左右に各1個を設けること。スイッチ類はスモールと連動すること。
- (16) キャブ内後部座席下部にバッテリー管理器を設けること。外部からの電源供給用コンセントは右側ポンプ室付近に設け、車体への接続は丸型マグネット式コードとすること。
- (17) 艀装関係のヒューズはブレード型とする。

16. 消防専用電話装置

- (1) 消防専用電話装置は、本町所有の車両に設置している装置一式を取り外し、運転席及び助手席から操作が容易な位置に取り付けること。
- (2) 消防専用電話装置の電源取り出しは、シャシのキーON スイッチ連動とすること。
- (3) アンテナ 2 本をキャブ天井に取り付けること。アンテナ本体は新品を受注者が用意すること。
- (4) 助手席付近に送受話器を取付けること。送受話器は既存車両からの移設とする。
- (5) 左右ポンプ上ボックス内に車外無線送受話器取出口を設け、送受話器を取り付けること。送受話器は既存車両からの移設とする。
- (6) キャブ内外にスピーカーを設け、スイッチにより切り替えが可能であること。
- (7) 外部スピーカーについては消防団所有の IP 無線機と接続することができ、活動中でも無線内容が聞き取れるようにすること。
- (8) 故障や不具合の早期発見、解決ができるよう、車両やポンプ装置に関するデータを自動取得できる IoT 情報収集端末を設置すること。
- (9) 詳細については、本町と協議すること。

17. 塗装および記入文字

- (1) 車両鋼材部分の下地塗装は充分錆落としの上、防錆性能が高く長期にわたり錆の発生を防ぐエポキシプライマー（メタルアーマーECO）を使用し、パテ、サフェーサを施工後、充分乾燥させ塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン赤色塗料により2回以上の塗装を行うこと。
- (2) アルミ縞板使用部は、無塗装とすること。
- (3) バックミラー裏面及びステータはシャシ固有とする。
- (4) シャッターは赤色塗装とすること。
- (5) ドア厚み部はシャシ固有とし、ウェザーストリップまでは赤色塗装とする。
- (6) バンパー塗装は赤色塗装とすること。
- (7) 車両下回りは黒色塗装とすること。
- (8) 各吸水、中継、吐水配管は、長期の防錆対策としてカチオン電着塗装を行い表面は赤色塗装とする。
- (9) ボールコックは赤色塗装とすること。
- (10) ボックス内塗装色は赤色塗装とすること。
- (11) 車両左右及び標識灯には指定の文字を記入すること

装備品

	N o	品 名	内 容	個数
☆	1	ポンプ圧力計（リタード式）	φ100 透過光照明灯付 45度張出式	2個
☆	2	ポンプ連成計（リタード式）	φ100 透過光照明灯付 45度張出式	2個
☆	3	真空・揚水表示ディスプレイ	右計器盤に1個	1個
	4	流量計	デジタル式 （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	1個
	5	積算流量計	デジタル式 （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	1個
	6	ポンプ回転計	デジタル式 （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	1個
	7	ポンプ使用時間計	デジタル式 （真空・揚水表示ディスプレイに表示）	1個
☆	8	電子サイレン	TSK-D151（大阪サイレン）音声合成機能付 本体（サイレン、警鐘入、拡声装置付）一式 スピーカー	1式
☆	9	赤色警光灯	LED式 艀装時最新のもの	1個
☆	10	サーチライト	MYS-75LP 車体前方右側 1個	1個
☆	11	計器照明灯	計器盤上方に各1個 LED式	2個
☆	12	ポンプ室内灯		1個
☆	13	標識灯	赤色警光灯内蔵	1個
☆	14	泥除ゴム		4枚
☆	15	団マーク	樹脂製	1個
	16	エンジン回転計	シャシ固有のもの	1個
	17	エンジン油温計		1個
	18	方向指示器	シャシ固有のもの	4個
	19	後退灯	シャシ固有のもの	1個
	20	後退警報器	シャシ固有のもの	1個
☆	21	バッテリー管理器	CTEK マグネット脱着式	1式

付属品

	N o	品 名	内 容	個数
	1	吸管（軽量）	75mm×10m LF-RS	2式
	2	吸水ストレーナー	75mm用ポリプロピレン製	1式
	3	吸管ストレーナー	75mm用ポリプロピレン製	1式

4	吸管ちりよけ籠	75mm用ポリプロピレン製	2 式
5	吸管まくら木	ゴム製バンド付	2 個
6	吸管ひかえ綱	クレモナ 10mm×15m	2 本
7	中継媒介金具	65mm ネジメス×65mm 差込メス	2 個
8	消火栓金具		1 個
9	消火栓開閉金具		1 個
10	吸管スパナ		2 個
11	管鎗		2 式
12	可変噴霧ノズル	NV-65BX	2 式
13	放口媒介金具		4 個
14	双口接手	65mm×65・50mm×65・50mm	1 個
15	消火栓スタンドパイプ	単口引き上げ式 715mm	1 式
16	とび口	グラスファイバー製 1.8m	2 本
17	剣先スコップ		1 本
18	大ハンマー	グラスファイバー製	1 個
19	ホースブリッジ	CB450	1 式
20	伸縮コーン		2 個
21	梯子	K-1 (関東梯子) 鋼管製 2 ツ折り 3.6m 赤塗り	1 脚
22	アルミ縞板ボックス		1 個
23	車輪止		2 個
24	消火器 20 型		1 式
25	クリッパー	BC600-FN 絶縁型	1 個
26	ポンプ工具	冷却水キャップ	1 式
27	ホースカー可納式		1 台
28	オイルパンヒーター	コード 10m 付	1 式
29	予備タイヤ	スタッドレスタイヤ ホイール付	1 式
30	訓練旗	マグネットタイプ	2 個
31	牽引ワイヤー	シャックル 2 個付	2 本
32	消防用ホース	65 mm×20m 1.3MPa D ライトスター 低 圧力損失ホース 平織	10本
33	ディスクストレナー		1個
34	投光器	マキタ ML008G× 1 上記用三脚× 1 バッテリー BL4040× 2 バッテリー充電機 JPADC40RB × 1	1式